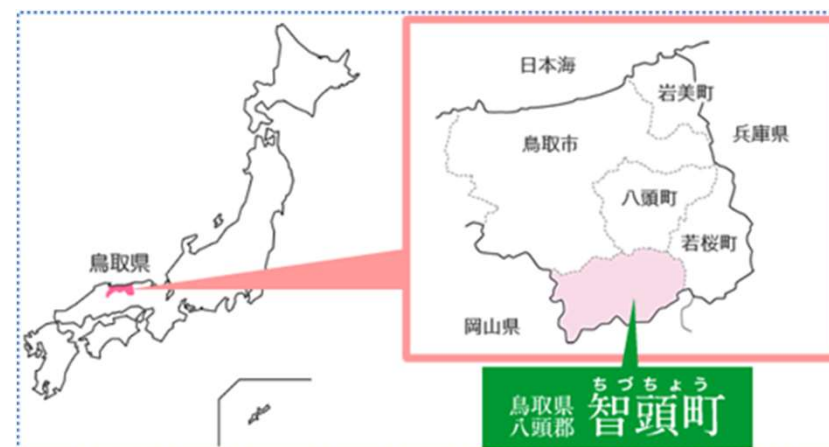


■ 鳥取県智頭町との連携（令和 5 年 12 月 25 日 協定締結）

鳥取県智頭町と「2050年脱炭素社会実現に向けた連携協定」を締結

1. 智頭町の概要

- 鳥取県の南東部に位置し、南と東は岡山県に接している
- 人口：6,329人（令和 5 年 8 月 1 日時点）
- 豪雪地帯に指定
- 面積の93%が山林を占め、「杉のまち」とも知られている
- 林業の植樹の歴史は350年以上といわれ、樹齢300年以上の人工林が残り、吉野・北山に並ぶ歴史ある林業地として、全国的にも高い評価
- 近年、林業従事者の高齢化や後継者不足等により林業は衰退傾向にあるが、地域一丸となり、林業再生へ向けた取組みを継続



千代田区と多様な主体との連携

2. 智頭町との連携理由

- ・ 智頭町の木材を神田駅構内インフォメーションカウンターに寄付
- ・ 東京ビエンナーレにおける千代田区後援イベント「天馬船レース」に木材を提供
- ・ 千代田区観光協会会員「NPO日本で最も美しい村連合」加盟自治体 等

3. 連携事項

1. 森林整備の実施とCO2吸収量の認証
2. 再生可能エネルギーの創出・導入・利用拡大
3. 環境学習等交流事業の実施
4. 木材利用の推進
5. 脱炭素化の推進に向けた住民や企業の活動・事業の促進

4. 森林整備の見込み

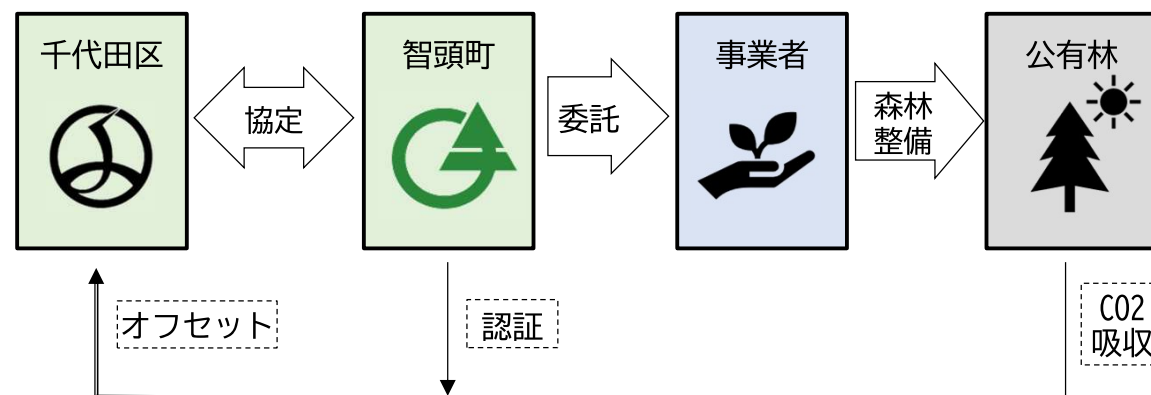
令和6年度智頭町森林整備面積
⇒合計16.10ha（スギ・ヒノキ）

【参考（令和5年度見込み）】

その他連携自治体森林整備面積

	森林整備面積
高山市	17.40 ha
孺恋村	0.50 ha
五城目町	4.95 ha

<カーボンオフセットのイメージ>



森林整備により吸収されたCO₂をカーボンオフセット